

警察署協議会会議録

博多臨港警察署協議会

開催年月日時	令和8年9月17日 午後4時00分 から 令和8年9月17日 午後5時30分 まで	
開催場所	福岡県博多臨港警察署	
出席者	警察署協議会	会長、委員2名、公安委員1名
	警察署	署長、副署長、 総務課長、会計課長、生活安全刑事課長 交通課長、地域課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 本日は、署員の方のグループ検討会に参加させていただけると聞いている。普段、現場で汗を流している警察の方々が、どのような思いで仕事をされているのか聞けることを楽しみにしている。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 今回、委員の方々には、現場の生の声を聴いていただきたいと思っている。署員は、普段、考えていることや思っていることを飾らず、本音で語っていただきたい。 【議事等】 1 グループ検討会の実施 署員6名の3グループそれぞれに各委員がオブザーバーとして入り、「障がいのある人への対応」及び「外国人への対応」の2テーマについて、検討会を実施した。 検討時間は60分であったが、各グループとも議論が盛り上がり、時間が足りなくなるグループもあった。 検討結果については、 「障がいがある人への対応も外国人への対応も基本的には一般の人と同じように対応すべきである。」 「しっかり相手に寄り添い、親身になってベストを尽した対応をしていけば、自然と相手に合わせた対応（配慮）ができるはずである。」 「外国人に対しては相手の国の文化や風習をしっかりと理解し、その上で日		

議 事 概 要

本のルールを丁寧に説明して理解してもらうことが大切だ。」

「こちらもその国の挨拶程度の言葉を覚えて事案対応に当たれば、親しみが湧き、スムーズな対応ができるのではないか。」

「どのような相手に対しても、共感力や寄り添う姿勢が大事である。」等の意見が出された。

検討会に参加した署員は、「職務倫理の基本」である「人権を尊重し公正かつ親切に職務を執行すること」の大切さを再確認する良い機会となった。

2 協議会委員による講評

委員から、

「警察官は、命を懸けて業務に当たるような厳しい場面にあっても、社会的弱者や被害者に対し、寄り添っていく気持ちでいることを知った。強く優しいお巡りさんのイメージをこれからも大切にしていって欲しい。」

「警察は悪い人を捕まえるのが仕事というイメージが強かったが、障がい者や外国人等の人権にここまで配慮して活動しているのかと驚いた。」

「皆さん真剣に真摯に業務と向き合っていることがよく分かった。今後も胸を張って自信を持って仕事に取り組んでほしい。」

等の講評を得た。

3 公安委員による講評

本会議の視察を行った公安委員から

「警察署協議会委員の皆様は、地域の生の声をお持ちである。警察活動は地域の皆様の声を聴いて反映させることが大切であり、これからも警察の方々には協議会委員の皆様とともに地域の意見を反映させる活動を行われるよう期待している。」

との講評を得た。

【閉会】

署長から、「時代が変わろうと、警察官は『職務倫理の基本』を実践し、県民に寄り添った活動をしていかななくてはならない。委員の皆様にはこれからもご指導や忌憚のない意見をお願いする。」との挨拶があり、本会議を終了した。